

13 国有林苗畑における線虫被害の実態調査および防除

1 試験担当者

本場保護部樹病科長：千葉 修

〃 〃 研究室：真宮増治

関西支場保護研究室：寺下隆喜代，峰尾一彦

四国支場保護研究室：陣野好之

九州支場保護第一研究室：徳重陽山，清原友也

2 試験目的

国有林苗畑における線虫被害の実態，加害線虫の種類・生態・被害と環境との関係を明らかにし，薬剤および育苗手法による防除方法を確立する。

3 昭和42年度の経過とえられた結果

A) これまで北海道5局および青森・秋田・高知各営林局管内苗畑における線虫被害の実態については，本場または各支場に送付依頼された試料による予備的な調査がされたのみで未調査の苗畑が多かった。42年度はこれら営林局管内苗畑に重点をおき，第1表に示す合計64苗畑について調査をおこなった。

第1表 昭和42年度に調査した営林局別苗畑数

営林局名	営林署数	苗畑数	調査点数
札幌	5	7	24
函館	1	1	3
青森	11	11	43
秋田	4	4	14
大阪	30	37	170
高知	4	4	28
合計	55	64	282

この調査の結果，次の点が明らかとなった。

1) 札幌および函館営林局管内では，大多数の試料からキタネダサレセンチュウが検出

